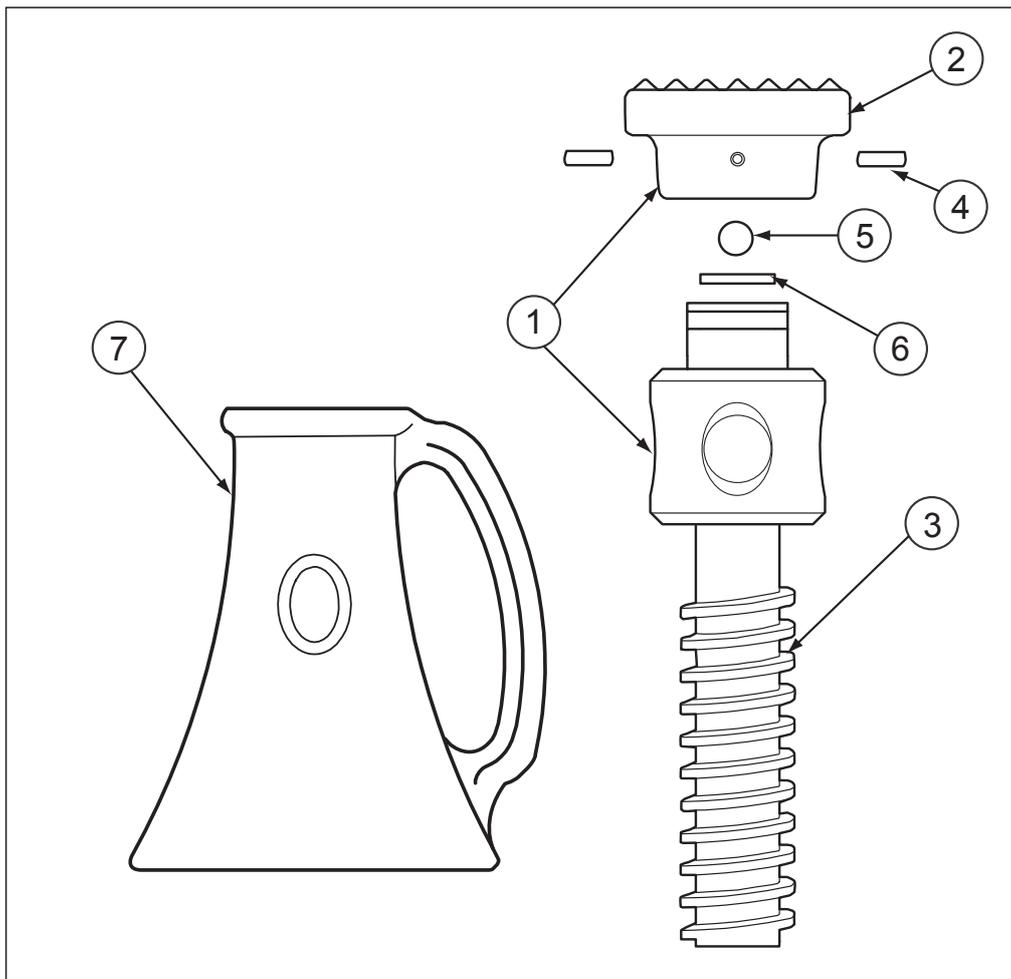


06/2017

(1 1/2) (2) (2 1/2) スクリュジャッキ

部品図



部品表

No.	部品名	型式 (03060~03300) ・呼ネジサイズ (1 1/2×6~2 1/2×18)									数量
		03060 1 1/2×6	03090 1 1/2×8	03120 1 1/2×12	03165 2×8	03195 2×10	03210 2×12	03240 2 1/2×8	03255 2 1/2×12	03300 2 1/2×18	
1	キャップスクリューアッセンブリ	03568	03570	03574	03582	03584	03586	03600	03602	03608	1
2	キャップ	90007	90007	90007	90048	90048	90048	90070	90070	90070	1
3	スクリュー	90016	90019	90025	90036	90039	90043	90056	90059	90068	1
4	スピロールピン	40420	40420	40420	93822	93822	93822	93825	93825	93825	3
5	ボールベアリング	90008	90008	90008	90049	90049	90049	90071	90071	90071	1
6	スラストワッシャー	90009	90009	90009	90050	90050	90050	90072	90072	90072	1
7	ハウジング	90014	90017	90024	90034	90038	90041	90054	90058	90067	1
	ハンドル棒	10621	10621	10621	10635	10635	10635	10655	10655	10655	1

重要伝達事項

ご使用の安全のために

1. 本製品は、当社の取扱説明書をよく読み、製品を十分に理解して、危険性を熟知したオペレーターにより運転・操作・保全を行ってください。
2. 本製品を納入稼働後、貴社にて改造・変更を行って、不具合・事故が発生した場合は、弊社のPL補償の対象となりませんのでご了承ください。
3. 本書に記載されている安全注意事項は、身体や機械の損傷レベルにより、次の3レベルに分けて記載してあります。危険度の高い安全注意事項に特に気をつけて作業を行ってください。

 **危険** 当該記載事項を厳守しないと死亡事故を招く恐れがあるもの。

 **警告** 当該記載事項を厳守しないと機械及び身体に重大な損傷を招く恐れがあるもの。

 **注意** 当該記載事項を厳守しないと機械及び身体に損傷を招く恐れがあるもの。

 **警告** ジャッキを使用する前に、操作方法の右記詳細を読み、そして理解して下さい。また次頁の安全操作手順と安全注意事項を読み理解して下さい。具体的な操作と手順に従って下さい。更に、装置の所有者や職権を有する指導者によって指示される、一般安全原則と事故防止対策をオペレーターは守って下さい。

参考文章

1. OSHA 産業労働者の操作(ジャッキ)のための事故予防マニュアル。
2. OSHA 一般産業規格(ジャッキ)
3. ANSI B30.1 ジャッキのための安全規格

ジャッキ操作方法

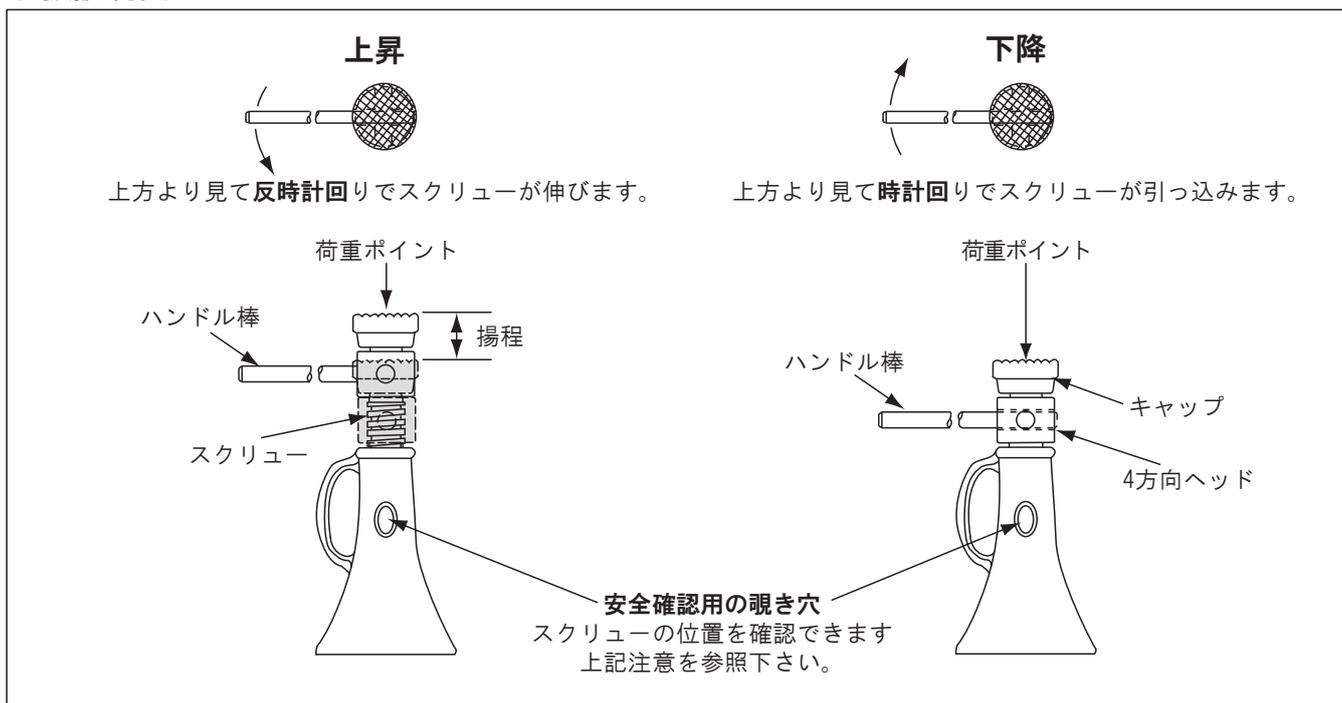
操作するために、ジャッキのヘッド側にある、ハンドル棒のための4方向にあいた差し込み穴を選んで下さい。そして確実にハンドル棒を差し込んで下さい。ハンドル棒を確りと握り、力をコントロールしながら、図のようにスクリューを伸ばしたり、戻したりするためにスクリューを回して下さい。下記の図のようにスクリューを回転させるために、ハンドル棒を隣接する差し込み口に移動させながら、スクリューを回して下さい。能力と型式及び最大支持力は本体のディケールや仕様表で確認して下さい。スクリューの揚程は4頁の仕様表で確認して下さい。

ジャッキ能力

ジャッキの荷重能力は、定められた条件のもとで使用された場合を想定して設計された、ジャッキの支持力です。ジャッキにかかる荷重は、ジャッキのスクリューの軸へかかる最大の荷重で積算しています。このジャッキを具体的に使用する場合には、風の影響を受けない、そして等しく確りした基礎の上で支えられ、偏荷重や、衝撃荷重、振動などの外部からの影響を受けない場所で、更に -25° ~ $+60^{\circ}$ の温度範囲の条件下でご使用下さい。

 **注意** ジャッキ本体のサイドにある、安全確認のために開けられた覗き穴の上部側を、スクリューの底部が超えるまで、絶対にスクリューを伸ばさないで下さい。

取扱説明図



安全操作手順と安全注意事項

1. ジャッキを使用する前に、作業者は具体的な用途で、安全で的確な使用方法を有資格から指導を受けて下さい。

⚠警告 この記述どおりに使用されたジャッキが一般的で、または特定の使用方法の全てに適していることを保証するものではありません。そしてそこから生じる全ての責任がユーザーが請けなければなりません。

2. ANSI B30.1 章 1-2 と 1-3 による標準記述に従うことに加えて、全てのジャッキは欠陥や手順ラベル、警告ラベル、損傷、的確な潤滑、そして摩耗に対して、使用前毎に有資格者によって検査を受けるようにして下さい。全ての機器が適切に機能するかを確認するために、ジャッキ作業をする前に、その全ての作業工程で荷重をかけ無いで操作して下さい。損傷や不適切な潤滑、誤動作するジャッキを決して使用し無いで下さい。検査をして無いジャッキは、指定サービス工場で修理されるまで作業から外して下さい。
3. 前頁のジャッキの操作方法と次頁の仕様表を参考にして下さい。そしてジャッキの能力と揚程が荷重に対して適当であるかを確認して下さい。荷重を正確に積算できない場合は、積算された荷重に対して、安全のために、能力で大きく余裕を持ったジャッキの型式を選んで下さい。
4. ジャッキが等しくベースに頑丈にサポートされ、そして荷に対して正しく垂直に位置決めされているのを確認してから、堅い基礎の上にジャッキを置いて下さい。ジャッキが滑ったり、荷がずれたりできない方法で、昇降位置で正しくサポートされていることを確認して下さい。
5. 各型式で指定されている、エナパックのハンドル棒を使用して下さい。次頁の仕様表で指定されている、各ジャッキで決められた長さを超えるハンドル棒を決して使用し無いで下さい。ハンドル棒を他の物で延長して使用し無いで下さい。
6. ジャッキのハンドル棒を右または左廻り方向へ安全に動かすことができ、作業員や物が妨げにならない作業スペースを、ジャッキの操作のために空けて下さい。
7. ハンドル棒の突然の予期し無い揺れで引き起こされる、人体への重傷事故を防ぐ方法として、作業員の頭や体の部分が、ハンドル棒の側面へ位置するようにして下さい。
8. ジャッキを操作する前に、前頁の操作方法を読んで下さい。そしてそれらの手順に従って下さい。ジャッキの故障、またはジャッキが転移した場合の荷の落下やズレを防ぐために、操作している間、荷を平行に動かし、支持器を荷の下へかましながら動かして下さい。上昇させた荷をジャッキだけで決して保持し続け無いで下さい。リフティング作業が完全に終了しましたら、直ちにジャッキ以外の頑丈な支持器で荷を受けて下さい。

9. **⚠注意** 人員を荷物のように決して持ち上げないで下さい。リフティング作業が完全に終了し、そして OSHA 安全衛生基準や、権限を有する有資格者、または安全エンジニアによる承認を受けて設置された、適切な荷の支持器で確保されるまで、荷の上や下へ人員を立ち入らせ無いで下さい。

10. 次頁の仕様表で示されているジャッキの揚程を超えて使用しないで下さい。警告と注意書きを読んで下さい。スクリュウの最下部が安全確認用覗き穴の上部を超えるまで、決してジャッキを伸ばさないようにするために、ジャッキの操作中は、安全確認用覗き穴のスクリュウの位置を観察して下さい。定められたジャッキの揚程以上に伸ばすことは安定性を損ない、荷を転倒させる結果となります。荷が固定物に接触したり、ジャッキの最大揚程に達した時には、それ以上にハンドル棒へ力を加え続け無いで下さい。
11. ハンドル棒を蹴ったり、ハンマーで叩いたり、揺らしたり決してし無いで下さい。そのような行為は人身事故の危険を引き起こします。更にジャッキの移動や荷の落下を引き起こします。
12. 安全対策として、リフティング作業が終了し、ジャッキが操作されてい無い時は、ジャッキのヘッドからハンドル棒を取り外して下さい。ジャッキから突き出て放置されたハンドル棒へ、偶然に突き当たるとジャッキが転移したり、荷の落下や移動の原因となります。ジャッキに放置されたハンドル棒は人身傷害などの危険な要因となります。

13. **⚠警告** 荷を下げる目的でジャッキを操作する前に、前頁の取扱説明書を読んで下さい。作業員は左記(7.)の手順に従って下さい。そして全ての人員と人体の部分が荷を下げる前に荷の影響を受け無い位置に移動して下さい。

メンテナンスと潤滑方法

1. 左記(2.)の手順と、経験者や職権を持った有資格者で規定された、ANSI B30.1 1-2 章の要件に従って下さい。
2. ジャッキを砂などが付着しないように綺麗にして下さい。そして、良好な作動状態を維持して下さい。
3. #2 のグラフィイトグリスをねじ山とキャップアセンブリへ潤滑して下さい。キャップの表面への潤滑は避けて下さい。

保証について

1. 保証期間

ご購入日より1年間

2. 保証事項

通常のご使用で当社の責任に起因する材料、製造上の欠陥が上記保証期間内に発生した場合は、出張修理には対応しておりませんので、商品を弊社に戻して頂いて調査確認後に、無償修理または新品と交換を致します。原則的に調査報告書もお受け致しておりません。また、欠陥や故障に付随して発生する二次的損害および製品の取外し、取付けに関するなどの附帯費用に関して、当社は一切の保証および責任を負いませんのでご了承ください。

3. 保証適用除外事項

●製品の誤った選定、誤ったシステムの下で生じた事故、それに伴う他の損害が発生した場合。

- 当社に相談了解なく変更や、改造された場合。
- 過酷な使用による消耗部品の損傷や摩耗による場合。
- 当社製品が、装置や設備等に組み込まれた事故に対する損害。
- 当社製品の故障によって誘発される損害。
- 自然災害による損害。

4. 特記事項

- 海外で購入された場合は有償修理になります。
- カタログ標準品を輸出された場合は、海外の当社グループ会社が有償修理致します。
- 特注品を輸出する場合は、事前にアフターサービスについての契約がされていないと、現地修理は受け付けないことがあります。

仕様表

呼 ネジサイズ	型式	支持力 (KN)	揚程 (mm)	最大 ハンドル 操作力 (N)	質量 (kg)	ハンドル棒			
						型式	長さ (mm)	径 (mm)	質量 (kg)
11/2×6	03060	107	95	854	4.5	10621	610	19	1.8
11/2×8	03090		146		5.5				
11/2×12	03120		248		7.3				
2×8	03165	178	127	1334	7.7	10635	914	21	2.7
2×10	03195		178		9.1				
2×12	03210		229		10.9				
21/2×8	03240	214	108	1601	12.7	10655	1067	29	5.5
21/2×12	03255		210		16.8				
21/2×18	03300		362		23.6				

POWERFUL SOLUTIONS. GLOBAL FORCE.

Japan Web サイト

エナパック株式会社

カスタマーサービス部

埼玉県さいたま市北区別所町85-7 〒331-0821

TEL.048-662-4911(代表) FAX.048-662-4955

E-Mailアドレス: info@enerpac.co.jp

<http://www.enerpac.co.jp>

お問い合わせ・ご用命は

●この取扱説明書の内容は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。